

TCA ニュース

= 2007年4月発行 = 【No. 206】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しむ 行楽・旅を楽しむ 道楽・道を楽しむ 友楽・友と楽しむ 遊楽・遊びを楽しむ

事務局からのお知らせ

■ 平成19年度会員登録(更新)のお知らせ

平成19年度会員証の更新を受け付けます。**年会費は、5,000円**です。JCAの申込用紙と金額が違うのでご注意ください。(JCA賛助会費 4,000円、TCA 1,000円)

更新の際は、事務処理の都合上、JCAから郵送される更新申込書が必要です。

特に、**名前、JCAコード番号、生年月日を忘れず**にご連絡下さい。

更新申込は、東京サイクリング協会事務局(〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11)へ

振込の場合の口座番号は下記の通りです。(自分の名前を忘れずに書いて下さい)

郵便振替：口座番号 00100-9-190048

東京サイクリング協会

銀行振込：三井住友銀行銀座支店 口座普通 7401968

東京サイクリング協会

■ 会員カードと会員番号

JCAの会員番号体系が変わります。今年度からJCA事務局が会員番号を一元管理して会員番号を発番します。会員番号は、個人コードと都道府県コードがあり、個人コードは今後変更されず、この個人コードのみで保険等の把握ができます。

新規入会の会員は仮会員カードを地方協会が発行し、後日正式な会員番号を記入した会員カードがJCA事務局から発送されます。

今後は、JCAは会費の自動引落手続の処理を考えていますがTCA(東京)の場合は5,000円としているのでJCAと調整中です。

■ 11th TOUR OF JAPAN

今年のツアー・オブ・ジャパン東京ステージの開催は、5月27日(日)になりました。

例年どおり走路自主警備員の派遣協力をいたします。詳細は未定ですが、例年と同じの予定です。ご協力頂ける方は事務局までご連絡下さい。

◇ 募集人員：先着35名 定員になり次第締め切ります。

◇ 集合場所：東京協会事務局前(中央区銀座7-15-11) 午前7時45分までに集合

■ ザ・ビッグラン神奈川 2007「プチ・ディアゴナル・ド・カナガワ」

神奈川県サイクリング協会(KCA)より要項が事務局に届いています。

今年は、神奈川県下の5箇所の星型に配置されたポイントを対角線にコースを設定して走破し走行記録(完走報告書)を提出するものです。

申込最終締切 7月20日 実施期間 4月28日~10月28日 報告書提出期限 10月31日

参加費は、東京・埼玉県・千葉県の協会員もKCA会員と同じ2,000円です。

申込者に参加賞(ビッグラン特製T-シャツ)。全5コースを走破し報告書を提出すると完走賞が授与されます。

希望者は、要項を事務局に取りに来るか神奈川県協会(KCA)に問い合わせてください。

【4月現在 会員数228名】



花と温泉の小湊鉄道・久留里線 を巡るツーリング

《3月24日(土)～25日(日)》

ACC会員 玉井 重利

『帰る』エ～どうしたの！！『前輪を忘れた』この衝撃的な出来事がツーリングの始まりでした。

今回の登場人物は、恐れ多くも82歳現役サイクリストの小笠原さん・70歳現役トライアスロンマン体脂肪6%スーパーマンの飯川さん・ウイスキー好き英国紳士風の近藤さん・眉毛も天然パーマ北川さん・林道大好き泥んこマン磯部さん・長助ラーメン栄養十二分山本さん・山伏頭の私・そして片道輪行だけ参加で残念石田さん。平均年齢は65歳か？でも精神年齢は20歳？のシルバー人材サイクリングの始まりです。

横浜、中山の自宅を出て新木場まで走り京葉線に、ふと気がつくと同じ車輻にサイクルウェアに身を包んだ品の良い初老の男性が。もしやと思いを掛けると近藤さん。イヤー自転車仲間っていいですね。すぐ旧知のように話が弾みあつというまに五井駅に到着。小湊鉄道のホームには久留里駅から走る小笠原さんを除く仲間が全員揃っており、レトロな雰囲気先頭車両をバックにパチリ。出発と思いきや一つの輪行袋がホームに、誰のだ？既に出発時間は過ぎていく。やさしい女性車掌が待ってくれる。そこへ階段を転げるように下りてくる。山本さんダ。電車に飛び込み・セーフ。ヨカット。『精算をした』無事全員を乗せて出発。早速、車窓から黄色く咲誇っている菜の花を見ながら握り飯をガブリ。隣では近藤さんがウイスキー片手にグビグビ。それを見た女性車掌が『お酒飲んで自転車乗っちゃダメ』。

ワイワイガヤガヤで飯給(イタブ)駅に11:48着。組立てを始めると突然、石田さんが『帰る』。自宅で輪行し前輪を忘れた！！あえなくここからサヨナラ。



無人駅の飯給駅舎(右から二人目が玉井氏)

情緒ある飯給駅舎をバックにパチリし出発。泥んこ好きのグラベル派の磯部さん・北川さんと分かれ、舗装好きのターマック派は順調に走り久留里に。ここで地酒を仕入、店前の湧き出る清水をボトルに詰めて久留里城址を目指す。この久留里城址までの坂が15%を超えるかという激坂で必死に登る。続いて登ってこられたのがナント飯川さん、さすが乗鞍ヒルクライムを2時間を切るスーパーマンだ。頂上の眺めを観終り、激坂を下り切ったところで妙齢の美人が『近くの駅はどこ？』と。説明しようと焦っていると近藤さんがすばやく対応。ヤラレタ、チクショー。宿の亀山温泉の嵯峨和旅館に14時半に到着。

すぐに独特のコーヒー色した温泉にタププリ浸かる。グラベル派も遅れて到着し宴会の始まり、凄く豪華な内容、久留里の地酒も腹に染み渡りいい気分です。と『小笠原さんは何処のご出身ですか』の問いに、博識を誇る小笠原さんが小笠原姓の由来について興味深い講演、その内容の奥深さに感動。

翌日は予報通りの大雨と強風で11時過ぎまで宿で過ごし、雨の中すぐ近くの久留里線上総亀山駅まで走り、輪行袋に納める。車内はガラガラでウワバミ組は地酒やらをやって大変な賑わいで、ここで2回目の宴会となりました。

今回のツーリングは荒川サイクリングクラブ(ACC)の会報で知り、TCA会員の小川さんを通して参加しました。

ほとんど初めての方ばかりでしたが本当に楽しいツーリングでした。幹事役の磯部さん他参加の皆様大変お世話になりました。よろしければ今後も一緒にツーリングに行きたいです。

春の一泊ラン千葉（^{いたぶ}飯給 亀山 保田）

TCA会員 飯川 忠広

3月24日(土)、自宅からR357を五井まで自走42km、五井で参加者7名が合流しました。小湊鉄道「飯給」の無人駅下車。その時「若しも輪行袋にロードの前輪が入ってなかったら」皆さんどうします？

TCAの自転車プロは、果敢にも「無から有」「不可能を可能にする」発想をしました。

放置されているマウンテンバイクの前輪を利用出来ないか？思考錯誤しながら、それぞれが智恵を出し合いました。私もダメ元でも「試みる期待感」がありました。最終的には中止になりましたが、見届けたいとも思いました。ガタゴト、ガタゴトで集団走行は困難か？と想像しながら6名でスタートしました。

今回はオンロード組(4名)、オフロード組(2名)の2組に別れた企画でした。

久留里は「銘水の里」と呼ばれています。上総掘りで掘られた本物の天然水です。

途中酒造に立ち寄り今晚のお酒を背負って、久留里城(天守閣がない)へ登坂、「井戸堀り櫓」(現在でもアフリカ、東南アジア、で活躍中)、地下に埋設された「木の水道管」など展示されていて興味を惹きました。

天候を気にしながら早めに宿「湖水亭嵯峨和」に到着。予期してなかった小笠原さんが先着していました。亀山湖を見下ろす露天風呂(黒い温泉で効能がありそう)に入って一段落していると、オフロード組が泥だらけで帰ってきました。

宴会の肴は「小湊鉄道の女性車掌さん」、「久留里城からの帰路、山中で近藤さんに道を尋ねたスーツ姿の若い女性」などでした。

3月25日(日)、夜中からの風雨で保田への走行中止。久留里線の亀山駅まで雨中走行、民家の軒下等で輪行袋に収納していると、少し小雨になって来ました。2時間に一本の12時発で出発。途中急ブレーキで電車がストップ!!全員前方に走って見物、昨夜からの風雨で線路脇の竹が倒れ、運転手が下車して取り除くユーモラスな光景がありました。

亀山~久留里間は、昨日走った道路を車内から右手に見ながら、木更津で乗り換えて帰路に着きました。



小湊鉄道月崎駅手前の素掘りのトンネル(右が飯川氏)



宿の玄関前で (左端が飯川氏)

むすび

いつもながら、北川さんのアルプスラブのコース地図で予習が出来て興味倍加です。

企画とお世話をしてくれた磯部さん、上り坂では水分補給が必要な山本さん、Bianchiをリニューアルした初参加の玉井さん、そして残念だった石田さん、今回は風雨で予定コースの半分でしたが、思い出に残る楽しい「たけのこラン」でした。どうも有難うございました。(二日間走行72km)

【参加者】

飯川忠広さん 山本雅道さん 近藤隼人さん
玉井重利さん 北川常夫さん 磯部光博さん
小笠原淑夫さん

オフロード迷走組顛末記

TCA会員 北川常夫

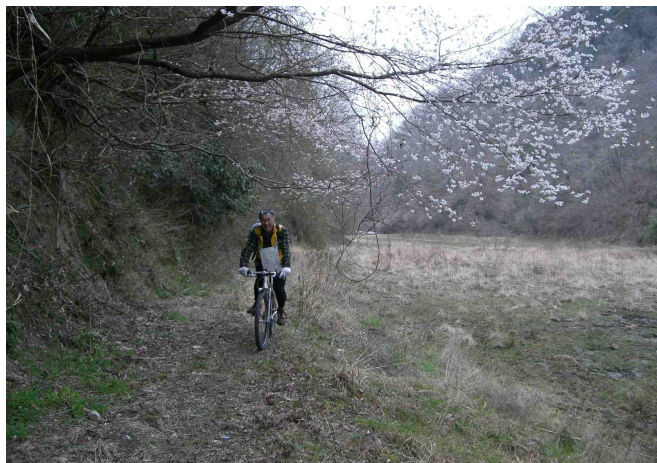
久留里へ向かうオンロード組と柳川集落の橋で別れて磯部氏と二人で走り出す。

始めのうちは舗装されており、のどかに走りながら「連中もこちらの方が良かったかな？」「でも観光ポイントもなく、ただ走るだけだから認められないか」などと話しながら2台のMTBで進んで行く。

事前に幹事の磯部氏が公開してくれているALPSLABのrouteをMio(GPS)に取り込んで来て、画面のMaple上に青い線で示されているルートの上をトレースして行くので道路がある限り迷う心配はない。分岐で「左だ。次は右だ」と進むと素掘りのトンネルが現れる。

この付近は、沢の流れも砂岩を掘り抜いてトンネルになっている。

路面の舗装が割れて荒れている。もう舗装化が進んでオフロードの楽しみを味わう場所が少なくなってきたが、このように新たなオフロードが現れてくる可能性があるかも知れない。



山中の桜の下を走る磯部氏

石塚の集落を進んでいたら、いつの間にか進路が南を向いていた。道なりに西に進めば良いと気を許していた。さっき挨拶した人達がいたところが分岐だったのか。わざわざ登坂したのが悔しいが迂回してもとのルートへ復帰する。次の福野の集落では右へ入る道が見つからない。

磯部氏の1/5万では学校が示されていて、手前を右となっているが、Mapleでは千葉県でもこの辺は詳細図がなく中域図までで、画面には道を示す線以外に情報がない。

学校の脇を進むと人家へ入ってしまう。GPSに示される現在地点で恐る恐る人家へ入って行くと手前で右へ回り込む道になっていた。地図にはここまでの精度で図示されていなかった。

突き進むことにする。今度は北向き地蔵尊の霊水があった。飲むのは不安なので漱ぐだけにする。尾根道を北上して行くと分岐を過ぎてしまった。左側を気にしながら走っていたのに道が無かった。戻ってみるが発見できない。1/5万と照合するが等高線の配置も方向も間違いない。するとどうだガードレールが設置されている手前の地点から入っていきそうな雰囲気。これを道として地図に表現するのは無理だと思う。磯部は喜び勇んで下って行った。仕方がない下まで行けば道路に出るのは判っているので付いて行く。降りてきたらGPSのバッテリー警告が出た。昨晚飲んで帰って充電を怠ったのが失敗だった。急遽セカンドバッテリーを出して接続する。

ほとんど廃道状態の道を進み、いくつめかのトンネルの真っ暗な中を歩いていたら足首まで水に浸かった。暗闇の中で目を凝らして調べると3mほど先まで完全に水没している。後ろから乗って行けるか尋ねられたが泥がぬかっていて途中で停まってしまうに決まっている。覚悟を決めて歩く。なんとか通過して次のトンネルに来たら上から崩れた砂が敷き詰められている。てんぷらじゃあるまいに水浸しのあとで砂まみれ。靴も靴下もひどいことになっている。がまんして進むと森の中に入り込み倒木が並んでおり、またいだりくぐったりしながら進む。

自転車を押ししたり担いだり、段差を持ち上げたり降ろしたりして道と思われる方向へ進む。

座標・方向はルートをトレースしているので間違いないようだが、こんなルートをどうやって地図に図化したのだろうか？地図屋が余計な仕事をしてくれなければこんな目に遭わなかったのに。

そのうちポツポツと雨が落ちてきた。弱り目に祟り目か。幸い雨はたいしたことがないようだが、いつになったらまともに走れる道へ出るのだから？今日の行程は24kmで余裕があると思っていたが大違い。なんとか乗れる道に出て来て安心した。ここからは多少のダートをものともせず突っ走る。上総亀山駅に着いたら駅前がきれいに舗装されトイレも新築されていた。

オンロード組の山本さんに電話したら当然のことながら既に宿に着いて風呂から上がってビールを飲んでいるとのこと。宿に着くなり雑巾を出してもらって足を拭いて上がる。

久しぶりのダート走行は、思う存分以上に楽しませてもらった。